

## 編集 後記

本誌に質的研究の投稿が増加してきたように思います。私に関係する他誌でも査読を依頼されることが多くなりました。しかし、質的研究を専門にする社会医学の研究者はわが国ではごく少数で、本誌の編集委員や査読委員の中にも的確に査読できる人は多くはないと思います。

私自身も数量データを扱う仮説検証型の研究が専門ですので、同じ心理・社会的要因を扱った研究でも、質的手法を用いた論文にはかなり違和感をおぼえることがあります。正確な理解ではないかもしれませんが、確かに、数量型研究と質的研究はかなりことになっており、たとえば、①内的妥当性は、数量型研究ですと測定方法や対象者の選択方法がしばしば問題になるのに対し、質的研究の場合にはデータの処理や解釈が妥当かどうかの問題になりますし、② generalizability については、数量型研究では得られた結果がどの範囲の集団まで普遍化できるかという点が重要ですが、質的研究ですとサンプリングが最初から代表性を問題にしているため、むしろデータから得られた解釈がどのくらい学問を進めるのに役に立つのかを問題にするように思えます。

社会医学は医学の一分野ではありますが、人文系・社会科学系の学問の考え方や研究手法もとりにいる点が増長であり、その意味では本誌への掲載は今後、増加すると予想されます。良質な論文の投稿を期待しております。

(甲斐一郎)

## 次号予告

### 論壇

ドイツ連邦共和国の「老人看護法」制定をめぐる最近の動向……………華表宏有

### 原著

高校生の骨密度に対する栄養素摂取量および生活習慣の関連……………相良多喜子, 他

コーピング尺度 (GCQ) 特性版の作成および信頼性・妥当性の検討……………佐々木恵, 他  
在宅高齢者の主観的健康観と関連する要因……………中村好一, 他

介護保険における要介護疾患と要介護未認定期間 (健康寿命) ……………武田俊平, 他

介護保険制度下における在宅介護サービスの過小利用の要因……………杉澤秀博, 他

### 公衆衛生活動報告

姫路獨協大学における学生喫煙調査 (200年度) ……………宮井正彌

### 資料

女子学生の偏食行動様式別食習慣および健康習慣の実態……………永嶋久美子, 他

地区医師会を登録対象とした感染症情報発信システムの構築と運用……………大熊和行, 他

地方自治体における行政品質向上の取り組みの勧め……………関山昌人

## 第67回日本民族衛生学会総会案内

学会長 加納克己 (筑波大学社会医学系教授)

期 日 平成14 (2002) 年11月14日 (木) ~ 15日 (金)

会 場 筑波大学東京キャンパス (特別講演, 学会長講演, 学術発表)

東京都文京区大塚 3-29-1

茗溪会館 (評議員会, 懇親会, 学術サロン)

東京都文京区大塚 1-5-23

—問合せ—

事務局 〒305-8575

茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学社会医学系 加納研究室

TEL: 0298-53-3136

FAX: 0298-53-3136

E-mail: kano@md.tsukuba.ac.jp

http://minei.md.tsukuba.ac.jp